



# ふるさと笠松の「ちょっといい話」



## 「トンボ池の自然環境は自分たちの力で守る！」

6月30日(日)の早朝8時に、約200名の人々がトンボ池に集まってくださいました。集まった方々はトンボ池を守る会、下羽栗地区町内会、道德のまち笠松の関係者をはじめ、NPO法人「竹環境保全推進協議会竹人」、NPO法人「元気きそがわ」下羽栗小PTA、地元企業、一般ボランティアなどの方々です。

トンボ池周辺の竹や雑草を伐採し、不法に投棄された粗大ゴミなどを回収する整美活動は、今年で2回目です。集まった方々は、草刈り機やのこぎり、ナタ、剪定ばさみなどの道具を持参し、トンボ池の東と西に分かれて、作業を開始しました。曇天ではありましたが、少し活動すると汗が噴き出します。雨の後なので、竹や雑草は背丈以上に伸びています。それらを伐採するために、9時までの1時間、休息もとらないで頑張っていました。おかげで、トンボ池の周辺は見違えるようにきれいになりました。背の高い竹や雑草がなくなったことで、下草が育つ環境になり、表土が池に流れ込むこともなくなると思われます。きっと、池のヤゴにはよい環境が整ったことなのでしょう。たくさんのトンボたちが飛びかうようになることを願っています。ご協力くださった皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

なお、トンボ池の周辺の竹や雑草等の伐採活動は来年も続けたいと思っています。是非、たくさんの方々のご参加をお待ちいたします。



## ●心あたたまるいい話●それは★意外な話★ピンチに天使が舞い降りた話

「恩送り」…人から受けた恩を、ほかの人に順に送っていくという意味

ボランティア活動で将来の夢を見つけたいい話…中日新聞より

○さんは中学1年生の時に、保育園で初めてボランティアを体験した。「楽しそうだけど、ちゃんとみんなの役に立ってるのだろうか？」と、不安だった。案の定、初日から子どもたちが寄ってきて、どう対応したらいいのか迷うことばかり。徐々に慣れてきて、言葉をかけたり、一緒に遊んだりして、あっという間に4日間が過ぎた。数日後に保育園の子どもたちから、たくさんの絵や手紙が届いて、とても感激した。○さんは「保育士になることが将来の夢になりました。子どもたちの笑顔に接すると、優しい気持ちになれます。夢に向かって努力をします。」と語ってくれた。

小・中・高校生の皆さんからボランティア体験を募集します。笠松中央公民館担当まで連絡をお願いします。